

千葉県 ESG 債

法人投資家向け ・ 10年

千葉県初のサステナビリティボンドを発行します

本県が目指す「千葉の未来」の実現に向けて、「SDGsの推進」は欠かすことのできない「施策横断的な視点」と位置付けており、全庁を挙げて「SDGsの推進」に取り組んでいます。

その一環として、本県を取り巻く環境問題や社会的課題に対する具体的な取組を多くの方々に周知し、「SDGsの推進」に向けた機運をより一層醸成するために、本県初となるサステナビリティボンドを発行します。

千葉県令和5年度第7回公募公債(サステナビリティボンド)

年限	10年(満期一括償還)
発行額	150億円
各公債の金額	1,000万円
発行時期	2023年(令和5年)9月予定
主幹事会社	野村証券株式会社(事務)、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社
適合性評価	第三者機関である株式会社日本格付研究所より、国際資本市場協会(ICMA)等による各種原則・ガイドラインへの適合性について、最上位である「SU1(F)/Blue1(F)」の評価を取得しています 詳細については、本県のホームページに公開しています
購入対象	法人投資家
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本県ホームページ上で投資家名を掲載

千葉県サステナビリティファイナンス・フレームワーク

- 千葉県サステナビリティファイナンス・フレームワークは、調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定プロセス、調達資金の管理、レポーティング等について定めています
- 本フレームワークにより調達した資金は、千葉県総合計画の「重点的な施策・取組」に関連した事業の内、環境改善効果や社会的課題の解決に資するプロジェクトに充当され、その効果・成果は投資家に適切に情報公開いたします
- 本フレームワーク及び第三者評価については、本県ホームページ上に公開しています

URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/zaisei/kensai/esg.html>



ちばSDGs
チーバくん



千葉県令和5年度第7回公募公債(サステナビリティボンド) ～主な充当予定事業～

プロジェクト分類		主なプロジェクト
グリーン プロジェクト	気候変動への適応	<河川・海岸・砂防整備事業> 【河川】 ■ 河道拡幅・護岸整備等、ダムの施設更新及び機能確保等、排水機場・水門等の機能確保、堤防・護岸の補修等、河道内の堆積土砂撤去及び竹木伐採、危機管理型水位計や河川監視カメラの増設等 【海岸】 ■ 高潮、海岸侵食対策等の海岸保全 【砂防】 ■ 砂防施設整備・地すべり対策・急傾斜地対策等
		<農地防災事業> ■ 排水施設整備等の湛水防除、地すべり対策等
		<治山施設等事業> ■ 山崩れや地すべりに対する予防工事・被害地の復旧、海岸防災林等の造成等
		<道路防災整備事業> ■ 無電柱化 / 道路路面工事
		<港湾整備事業> ■ 水門、排水機場の改修整備、護岸整備、胸壁改修等
エネルギー効率	<県有建築物の省エネルギー化> ■ 合同庁舎整備等	
ブルー プロジェクト	再生可能エネルギー	<洋上風力発電のメンテナンス事業> ■ 名洗港整備
	生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理	<漁場の整備事業> ■ 海域環境に配慮した漁場の整備 / 水産総合研究センター再編整備
ソーシャル プロジェクト	手ごろな価格の基本的インフラ設備	<交通安全施設の整備事業> ■ 高齢者や子ども、障害者などが利用しやすい交通安全対策としての施設整備等
	必要不可欠なサービスへのアクセス	<防災行政無線再整備事業> ■ 衛星系無線設備再整備工事等 <特別養護老人ホーム等整備事業> ■ 老人福祉施設整備事業補助
	手ごろな価格の住宅	<公営住宅建設事業> ■ 県営住宅の建設、建替、既存住宅の改善工事等

充当事業の例



河道拡幅・護岸整備

- 近年多発する集中豪雨や大型台風に対する治水機能を向上させるための河川整備



無電柱化

- 大型台風等の災害時に交通機能の阻害や停電等の被害を防ぐ道路の無電柱化の推進



水門・排水機場の改修整備

- 高潮・波浪等の自然災害に対し、県民の生命や財産を守るための海岸保全施設の整備



名洗港整備

- 洋上風力発電の建設補助港・メンテナンス港として利用するための防波堤や岸壁の整備等



老人福祉施設整備

- 特別養護老人ホームや併設される老人短期入所居室等の整備に要する経費に対する補助



県営住宅の建設・建替・改善工事

- 良質な住宅の供給や既存住宅のバリアフリー化など高齢者等に配慮した住宅の整備・改修